

目指すまちの姿

5

自然豊かなまち

施策の 方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

5-2 生活環境の整備・充実

5-3 公園・緑地の整備・活用

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	評価指数の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
宇陀市の BOD※	0.7 mg / l (2015年)	1.5 mg / l (2020年度)	0.6 mg / l	【市内の河川の水質の維持・改善】 自然環境を保全する取組みによって、宇田川の美しい環境の維持及び美化につながると考えられます。
市民 1 人あたりのごみ排出量	0.27t / 年 (2017年度)	0.27t / 年 (2020年度)	0.25t / 年	【市民 1 人あたりのごみ排出量の削減】 循環型社会の実現に向けた取組みや自然環境を保全・活用する取組みの推進が、市民の方々が排出するごみの削減につながると考えられます。

※BOD (Biochemical Oxygen Demand) は生物化学的酸素要求量といって、最も一般的な水質指標のひとつです。水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものであり、一般に、BOD の値が大きいほど、その水質は悪いと言えます。

SDGs



施策の 方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

現状

- ▶ 国は、2050年にカーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標に向けた取り組みを加速
- ▶ 後を絶たない不法投棄の防止対策の実施
- ▶ 植物では国指定天然物のカザグルマの自生地や向瀬スズラン群落があり、保護活動や生育環境を保全
- ▶ 室生ダムより下流の宇陀川や室生川などの河川には特別天然記念物であるオオサンショウウオが生息
- ▶ 宇陀市は豊かな自然に囲まれ、美しい山々ときれいな空気、水が生み出す風景が大きな強み

【グラフ】 不法投棄量の推移
2016年度～2020年度

課題

- ▶ 国のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みと合わせ、宇陀市においても脱炭素社会を視野に入れた取り組みの推進
- ▶ 清掃活動への参加意識を高めるとともに、環境美化運動についての啓発
- ▶ カザグルマやスズランの生育環境を保全
- ▶ 農林業の振興と森林の保全を図るため、地域産業の振興
- ▶ 宇陀市の自然環境を守り、引き継いでいくための、森林や里山の保全

脱炭素：地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑えることです。

カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林・森林管理等による吸収量を差し引いて、合計を実地的にゼロにすることです。

目指すまちの姿 5

施策

1 豊かで美しい自然環境を保全・活用します

【主な事業】 国指定天然記念物向淵スズラン群落再生事業、国指定天然記念物カザグルマ自生地再生事業、
国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業、環境美化活動事業、
里山の広葉樹林再生事業

- ・ 市民や事業者を含めた自然環境と開発が調和した、脱炭素によるカーボンニュートラルの実現に向けたまちづくり
- ・ 地域での清掃美化運動の取り組みを強化
- ・ 環境パトロールの実施による不法投棄の早期発見と早期撤去に努めるとともに、不法投棄防止看板の設置等による防止対策
- ・ 河川や地下水等の水質検査を実施し、水質を保全
- ・ 豊かな自然を感じてもらえるよう、スズランやカザグルマの個体群を観察、保護・再生するなど、国指定天然記念物の生育環境を整備
- ・ 奈良県と三重県教育委員会が共同で策定した特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針に基づいたオオサンショウウオの保護対策

【イメージ】 又は 【写真】
カーボンニュートラル（イラスト）
スズラン又はカザグルマ、
オオサンショウウオ

関連する計画



- 向淵スズラン群落保存管理計画
- カザグルマ自生地保存管理計画
- 宇陀市森林整備計画
- 公共建築物における宇陀市産木材利用推進方針
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

SDGs

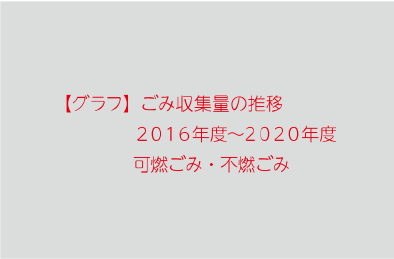


施策の方向性

5-2 生活環境の整備・充実

現状

- ▶ 宇陀クリーンセンターの稼働年限に応じた設備の更新・補修
- ▶ プラスチック資源循環戦略に基づく脱プラスチックの取り組みなどによる、廃棄物排出抑制
- ▶ ごみの減量化や資源化を通じた循環型社会の構築
- ▶ 市営榛原斎場や不帰堂火葬場の設備を計画的に修繕



課題

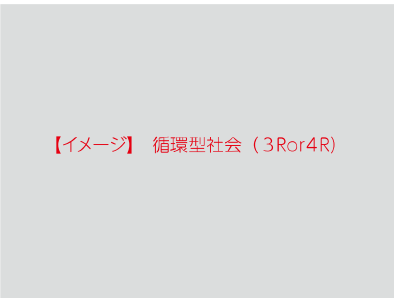
- ▶ 2028年度までに安定的なごみ処理施設の設置
- ▶ 市民のリサイクル意識の向上を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進

施策

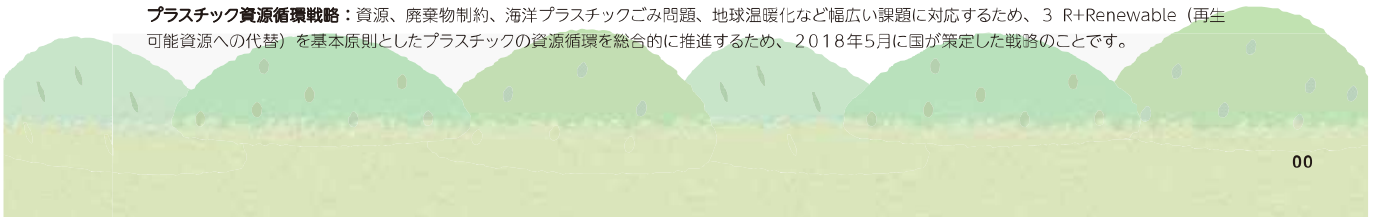
1 ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します

【主な事業】宇陀クリーンセンター設備更新、集団資源回収助成、生ごみ処理機等購入助成

- ・新たなごみ処理施設の整備と、それまでの期間、既設の施設での安定したごみ処理
- ・ごみの減量に対する意識の高揚に向けた啓発活動や資源ごみの回収、集団回収への支援を通じて、リサイクルを推進
- ・家庭の生ごみの減量・資源化を促進するため、処理機購入に対する支援



プラスチック資源循環戦略：資源、廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化など幅広い課題に対応するため、3 R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するため、2018年5月に国が策定した戦略のことです。



目指すまちの姿 5

2 生活衛生環境の向上を図ります

【主な事業】 合併処理浄化槽設置補助、狂犬病予防注射

- ・下水道施設を適切に維持管理するとともに、水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置に対する支援
- ・生活衛生環境の向上のため、老朽化したし尿処理施設の更新や維持管理の徹底
- ・市営榛原斎場と不帰堂火葬場を計画的に修繕し機能の維持を図るとともに、適切に運営
- ・市営赤人霊苑の適切な管理運営に努め、墓地使用者が安心して利用ができる場を提供
- ・狂犬病予防注射や登録など、動物の飼育マナーの啓発

関連する計画



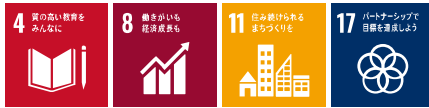
●宇陀市都市計画マスタープラン

●宇陀市過疎地域持続的発展計画

循環型社会：製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として利用し、最後にどうしても利用できないものは適切に処分することで天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のことです。

合併処理浄化槽：台所や浴室から出る生活雑排水と、し尿を併せて処理することができる浄化槽のことです。

SDGs

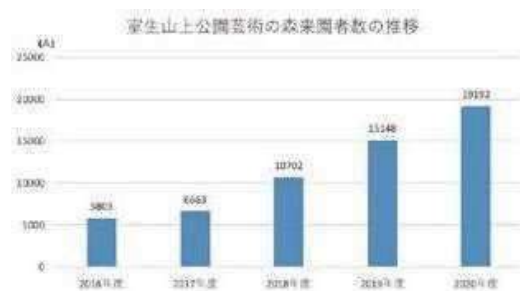


施策の方向性

5-3 公園・緑地の整備・活用

現状

- ▶ 平成榛原子供のもり公園は市外からの来園者が多く人気があり、2001年の開園時に比べると、来園者数は大きく減少
- ▶ 室生山上公園芸術の森の2020年度の入園者数は約1万9千人と開園後最多となるなど、増加の傾向
- ▶ 公園や緑地施設は交流やにぎわいの拠点となる場所であるが、老朽化が進行している施設が多数存在



課題

- ▶ 市民の憩いの場としてだけでなく、スポーツを通じた健康づくりやまちづくりを実現するための空間整備
- ▶ 公園や緑地空間を良好な状態に保ちながら来園者の増加を図るなど、より効果的な活用・運営の検討
- ▶ 利用者が安全・快適に利用できるよう、公園施設の計画的な更新



目指すまちの姿 5

施策

1 快適に利用できる公園・緑地空間を提供します

- 【主な事業】 ワールドメイプルパーク指定管理、室生山上公園芸術の森管理運営、平成榛原子供のもり公園民間活力検討、長寿命化計画に基づく公園施設整備、宇陀川公園整備、子供を軸に多世代が集う健康増進エリア整備構想策定事業
- ・市有地等を利用した多世代が交流できる空間の整備
 - ・平成榛原子供のもり公園の運営において、Park-PFI等の民間活力の導入を模索し、より魅力的な公園
 - ・緑地空間の提供
 - ・室生山上公園芸術の森は、文化芸術活動による地域の活性化を推進するとともに、来園者の多いシーズンにも対応した維持・運営の徹底
 - ・ワールドメイプルパークは、指定管理者によるカエデの育成管理だけでなく、地域活性化を推進するため、自然体験等を追った運営管理
 - ・老朽化により更新が必要な公園施設の修繕や長寿命化を計画的に進めるなど、安全・快適に利用できる空間の維持

【イメージ】又は【写真】パークPFI
室生山上公園

関連する計画

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公園施設長寿命化計画
- 緑の基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

Park-PFI:飲食店、売店等の公園利用者の利便性向上に資する公募対象公園施設の設置・管理運営と、この将来的な収益を活用した公園の広場、園路、駐車場等の整備・改修等を民間事業者が一体的に施工することができる制度のことです。